

# 電子体温計 TO-200

## 取扱説明書

### わき専用 やわらかタッチ体温計

このたびは、当社製品をお買い上げいただきことにありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

### ご使用上の注意

お使いになる前に、よくお読みください。

この取扱説明書は、製品を正しくお使いいただき、利用者への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な絵表示をしておりますので、内容をご確認の上、本文をお読みください。

#### 記号の例

- !** この記号は強制（必ず守ること）
- ⊘** この記号は禁止（してはいけないこと）
- !** この記号は注意（警告・危険を含む）

**警告** この表示の項目について、誤った取扱いをすると、人が死亡または、重傷を負う可能性があることを示しています。

**!** 検温結果の自己診断や治療は危険です。医師の指導に従ってください。自己診断は、病気が悪化するおそれがあります。

**!** 乳幼児の手の届かないところに保管してください。また、お子様だけの使用はさけてください。お子様だけで無理にはかろうとしてけがをすおそれがあります。

**⊘** 本製品はわき専用の体温計です。それ以外（耳など）で検温しないでください。また、人以外の検温には使用しないでください。正しい検温ができません。耳などを傷つけるおそれがあります。

**!** 本体の電源が入るか確認し、ご使用前に消毒用アルコールを染み込ませた布などで測温部を拭き、清潔にご使用ください。

**⊘** 本体が氷などでぬれた状態で測定しないでください。正しい検温ができません。

**注意** この表示の項目について、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されることを示しています。

※物的損害とは、家庭・家財および家畜・ペットに関わる拡大損害を示します。

**!** 測温部を持って振ったり、無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、先端で目をつまつかないように注意してください。事故や故障の原因となります。

**!** 電池は乳幼児の手の届かないところに置いてください。乳幼児が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

**!** 万一電池の液が目に入った場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。失明など、傷害のおそれがあります。必ず医師の治療を受けてください。

**!** 万一電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。けがなどのおそれがあります。

**!** 電池は、＋－を間違えないように交換してください。漏液、発熱、破裂などを起こし、本体を破損させるおそれがあります。

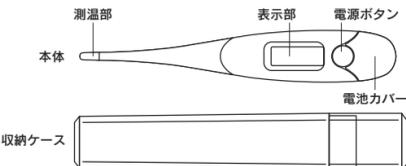
**⊘** 強い静電気や電磁波のある場所で使用しないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

**⊘** 電池を火の中に投げ込まないでください。電池が破裂するおそれがあります。

**⊘** 本体は完全防水ではありません。本体内部に水などが入らないようにしてください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

**⊘** 分解や修理・改造をしないでください。検温値に誤差が生じたり、故障の原因になります。

### 各部の名称



- 付属品**
- 電池（アルカリボタン電池LR41 動作確認用：本体内蔵）
  - 収納ケース
  - 保証書付取扱説明書（本紙）
  - 添付文書（本紙裏面右側）

### 体温計の正しいあて方

体温計を測定部分に正しくあててはならないと、精度の高い検温値が得られない場合があります。

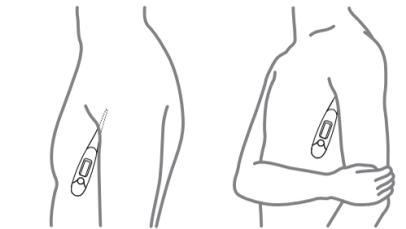
#### ●わきの中心ではかる

わきから汗をきれいにふきとってから測定してください。



#### ●斜め下から差し入れるようにしてしっかり挟む

わきと体温計が密着するように腕を軽く抑えてください。



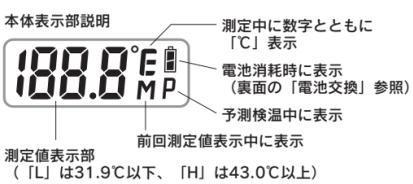
### 正確な測定のために

**⊘** 飲食、運動、入浴後の30分間は測定をお控えください。※正確な測定ができません。

**⊘** 周囲の温度が10℃を下回るか、40℃を超える場所では使用しないでください。※正確な測定ができません。

**⊘** 起床後は動く前にはかかるか、動き出してから30分間は測定をお控えください。※起床直後に動き出したときは体温が高くなり、変動が大きくなっています。

### 体温のはかり方（検温）



**①電源を入れる** 電源ボタンを押す

「ピッ」という音とともに表示部が全点灯。（約2秒間）

次に前回の測定値が表示されます。右下に「M」が表示され、前回測定値メモリーであることを表示します。（約2秒間）

**②「L」が表示されたら、検温する** 「L」が表示され、「℃」の点滅と予測検温マーク「P」が点灯すれば測定可能です。測定結果が約37.8℃以上だったことをお知らせします。わきに測温部をあてて検温してください。

**予測検温の場合** 約30秒後に告知ブザー音が「ピー、ピー、ピー」と鳴ったら、「℃」が点灯になり予測検温が終了します。

※測定結果は約3分表示します。※検温終了ブザーが「ビビビビッ、ビビビビッ、ビビビビッ」と鳴った場合は、測定結果が約37.8℃以上だったことをお知らせします。※正しい方法で測定を行わなかった場合や血行動態等によっては、予測精度が保証されない可能性があります。

**実測検温の場合** 予測検温終了ブザーが鳴ってもそのまま検温を続けます。予測検温終了から約3分後に「℃」が点滅し実測検温になります。「ピー、ピー、ピー」と鳴ったら「℃」が点灯になり実測検温が終了します。※実測検温時間の目安は測定開始から約8～9分です。

**③検温結果を確認する** 電源ボタンを押して電源を切ります。 検温結果が約37.8℃以上だったことをお知らせします。測定値は次回起動時でメモリーとして残ります。

**④電源を切って、収納ケースに入れる** 電源ボタンを押す

※当体温計は電源を入れた状態で放置した場合でも、電源を入れてから約12分後に「ピッ」と鳴って自動的に電源が切れるよう設計されていますが、電池の消耗を防ぐため測定終了後は電源ボタンを押して電源を切ってください。

### 電池交換

- 本体にはあらかじめ動作確認用電池が内蔵されていますが、電池寿命が短い場合がございます。
- 電池の寿命が近づき電圧が低下すると、測定開始時に表示部右上に「■」マークが点滅表示され、測定ができなくなります。
- 寿命と判断された電池はすみやかに新しい電池と交換してください。そのまま放置する事はお避けください。液漏れにより故障の原因になります。
- 使用済みの電池や本体の廃棄方法は、お住まいの市区町村の指導に従って廃棄処分してください。

#### 交換のしかた

- ①電池カバーをはずします。
- ②本体中身を5mm程度引き出します。この時強く引っ張らないでください。破損する事があります。▲基礎には絶対に触れないでください。
- ③本体裏面側から精密マイナスドライバー等、先の細いもので電池を押し出すように取り出します。▲電池はきつめにセットされているので取り出す際はつまようじ等で指を刺さないようご注意ください。
- ④本体中身を指で押さえ、電池のプラス面が表になるよう押し込みます。
- ⑤本体中身を元にもとし、電池カバーをしってください。

※電池カバーがたたくてはすれにくいときは、以下の方法をお試しください。先端の幅が3～5mmのマイナスドライバー1本をご用意ください。

1. すべりにくい机の上に体温計を電源ボタンを上にして置き、動かさないように押さえる（図1）。
2. 人差し指で電池カバーの合わせ目部分を下に押さえつけた状態を保ち、側面の電池カバーと本体の隙間にマイナスドライバーを差し込み（図2）。
3. 2の状態を保ったまま、ドライバーを時計回りに回して電池カバーをはずしてください（図3）。

### 仕様

|         |   |
|---------|---|
| 販売名     | 電子体温計 TO-200  |
| 認証番号    | 第 227AKBZX00022000 号                                |
| 温度測定範囲  | 32.0℃～42.9℃<br>31.9℃以下で「L」マーク表示<br>43.0℃以上で「H」マーク表示 |
| 測定精度    | ±0.1℃（恒温水槽で実測測定した場合）<br>周囲温度10℃～40℃の時               |
| 測温部     | 3桁デジタル+℃表示、0.1℃毎                                    |
| 告知ブザー   | 予測検温が終了時、実測検温が終了時                                   |
| 測定値メモリー | 前回の測定値を記憶保存します                                      |
| 電撃保護    | 内部電源機軸BF形   |
| 測温部     | サーミスタ   |
| 使用電池    | アルカリボタン電池 LR41×1個（DC1.5V）                           |
| 使用温度条件  | 10℃～40℃   |
| 保管温度と湿度 | -10℃～60℃ 30%～90%RH                                  |
| 外形寸法と質量 | 140（H）×22（W）×12（D）mm<br>約13g（電池を含む）                 |
| 電池寿命    | 約2年（新品電池を一日10分使用の場合）                                |
| 種類      | 電子体温計 一般用   |
| 方式      | 予測式/測温部一体形  |
| 防護      | 一部防滴形   |

※製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

### 故障かなと思ったら

| ●電源が入らない表示部に「■」が表示される |                                     |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 原因                    | 対処方法                                |
| 電池が消耗していませんか          | 新しい電池に交換してください<br>「電池交換」をご参照ください    |
| 電池の向きをまちがえていませんか      | 電池を正しくセットし直してください<br>「電池交換」をご参照ください |

| ●思ったより測定値が低い      |                        |
|-------------------|------------------------|
| 原因                | 対処方法                   |
| 汗をかいていませんか        | 汗をきれいにふき取って測定しなおしてください |
| 測温部を正しくあてていませんか   | 「体温計の正しいあて方」をご参照ください   |
| 測定時間が短かった可能性があります | 予測検温から実測検温に切り替えてください   |

| ●思ったより測定値が高い               |   |
|----------------------------|---|
| 原因                         | 対処方法  |
| 測温部が何らかの理由で熱くなっていた可能性があります | 測温部を冷やし、電源を入れた時に「L」が表示されることを確認してから、再度測定してください |

| ●測定値が一定していない、ばらつく           |                      |
|-----------------------------|----------------------|
| 原因                          | 対処方法                 |
| 測定するたびに、検温部があたる場所が変わっていませんか | 「体温計の正しいあて方」をご参照ください |
| 飲食・運動・入浴直後などに測定していませんか      | 「正確な測定のために」をご参照ください  |

| ●終了ブザーが測定開始後すぐに鳴る |                      |
|-------------------|----------------------|
| 原因                | 対処方法                 |
| 測温部がずれた可能性があります   | 「体温計の正しいあて方」をご参照ください |

### お手入れと保管

体温計はいつも清潔にお手入れしてください。

- ご使用後は、柔らかい布や脱脂綿等に消毒用アルコールをまはるまわしをみ込ませてかく絞ったもので、測温部を軽く拭いてください。（電池カバー部と本体の間にしみ込ませないようご注意ください。）
- 下記の事を守ってください。故障の原因になります。
  - ・電池カバー部分は防水性ありません。丸洗いはしないでください。汚れを落とす際はシンナーやベンジンは使用しないでください。
  - ・体温計の測温部を長時間アルコールに浸したり、熱湯（50℃を超える場）で消毒しないでください。
  - ・丸洗いや超音波洗浄をしないでください。

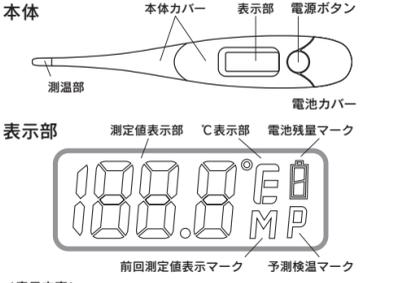
体温計は、収納ケースに入れて保管してください。

- 保管する際は、本体を乾燥させた状態にして、下記のような場所には保管しないでください。
  - ・水のかかる場所
  - ・高温多湿の場所や直射日光の当たる場所、ホコリの多い場所や、暖房器具のそば、塩分などを含んだ空気の影響を受ける場所
  - ・傾斜、振動、衝撃のある場所
  - ・化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する場所
- 長期間保管する場合は、電池を本体からはずしてください。

**【警告】**  
●お子様だけでご使用にならないでください。

**【禁忌・禁止】**  
・人以外の検温にはご使用にならないでください。  
・測定結果の自己判断や治療は危険ですので、医師の診断に従ってください。

#### 【形状・構造及び原理等】



- <表示内容>**
- ・測定値表示部：測定した最高温度を表示  
31.9℃以下は「L」を表示  
43.0℃以上で「H」を表示
  - ・前回測定値表示マーク：前回測定した測定値を表示
  - ・℃表示部：測定した温度とともに「℃」表示
  - ・電池残量マーク：電池の消耗時に表示
  - ・予測検温マーク：予測検温中に表示

**<本体の寸法および質量>**

- ・寸法 長さ140mm 幅22mm 厚さ12mm
- ・質量 13g（ボタン型電池を含む）

- <電気的定格>**
- ・定格電圧：DC1.5V・電源：アルカリボタン型電池（LR41）
  - ・電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器
  - ・電源に対する保護の程度による装着部の分類：BF形装着部

**<付帯機能>**  
測温部にあるサーミスタが温度により、電気的抵抗値が変化する特性を応用して、抵抗値の変化を集積回路で演算処理し、平衡温を予測した後に測定値を体温として表示部に表示します。

初期動作確認告知、実測検温終了告知、測定温度範囲外告知、自動電源遮断機能、予測成立告知

【使用目的、効能又は効果】  
測温部を部位に接触させて、脇下の体温を測定し、最高温度を保持しデジタル表示する。

【品目仕様】

- ・種類：一般用
- ・方式：予測式/測温部一体型
- ・防護：一部防滴形（JIST1140:2014による）
- ・温度測定範囲：32.0℃～42.9℃

・測定精度：±0.1℃（恒温水槽で実測測定した場合）

・温度表示：3桁デジタル

・最小表示単位：0.1℃

・最高温度保持機能：実測した最高温度の測定値を保持する。

・前回測定値表示メモリー：前回測定した測定値を記憶保存する。本品は、EMC規格：JIST0601-1-2：2012に適合している。

- 【操作方法又は使用方法等】
- (1) 電源ボタンを押す。
  - (2) “ピッ”音の後に表示部の全セグメントが表示される。その後、表示部右上に“℃”右下に“M”が表示され、表示部右上の“℃”が消え、前回測定値が2秒間表示される。
  - (3) “L”が表示され、“℃”の点滅を開始し、予測検温マーク“P”が点灯し、測定可能となる。
  - (4) 測温部を脇下に密着させ安静にする。
- ・予測検温の場合：  
予測検温開始ブザーの“ピ”音が鳴り、検温後“ピー”音が鳴ったら、予測検温が終了である。検温結果は約3分保持される。
- ・実測検温の場合：  
予測検温結果の保持後、予測検温マークが消え、実測検温になる。“℃”の点滅から点灯になり、“ピー”音が鳴ったら、実測検温が終了である。
- (5) 表示部に測定された体温が表示される。
  - (6) 電源ボタンを押せば、電源OFFになる。
  - (7) 電源ボタンを押さない場合は、電源を入れてから約12分後に電源OFFになる。

- 【使用上の注意】
- (1) 小さなお子様の手の届かないところに保管してください。また、お子様にご使用の際は、先端の測温部で目を突いたり、電池を誤飲しないよう保護者の監視下でご使用ください。
  - (2) 運動、食事、入浴後は十分な時間を置いてから体温を測定してください。
  - (3) 本体を強く噛まないでください。
  - (4) 体温以外の測定及び、人以外の検温に使用しないでください。
  - (5) 脇下以外では検温しないでください。
  - (6) 本体に傷や破損がないこと確認し、異常がある場合は使用しないでください。

- 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】
- (1) 高温や直射日光のある場所、湿度の多い場所や水のかかる場所、ほこりの多い場所、腐食性ガスの発生する場所で保管しないでください。
  - (2) 使用後は、乾いた布等で測温部を拭き、清潔な状態で収納ケースへ収納し、保管してください。

- 【取り扱上の注意】
- (1) 分解、改造、修理は絶対行わないでください。
  - (2) 電池カバー部分は防水性がありません。電池カバー部分に水等がかかたり、本体に水等をついたりしないでください。
  - (3) 熱消毒はしないでください。
  - (4) 丸洗いや超音波洗浄はしないでください。
  - (5) 極端に曲げたり落としたり強い衝撃を与えないでください。
  - (6) 体温を測定する時、周囲温度が体温より高いような場合は測温部に水をかけ、測温部を冷やしてから測定し、終了のお知らせ音が鳴ったらすぐ表示値を読み取ってください。
  - (7) 電池が消耗した場合、表示部の右上に電池残量マークが表示されます。このような場合、電池を交換してください。
  - (8) 電池交換の 방법은、取扱説明書をご参照ください。

【使用の期間】  
使用の期間の目安：5年（自己認証）

- 【保守・点検に関する事項】
- (1) 使用前に清潔な状態にし、作動するか（電源が入るか）を確認してからご使用ください。
  - (2) 汚れた、中性洗剤又はアルコールを染み込ませた布でよく拭いてください。